

63.11.1

九月定例  
町議会

一般質問

9月の定例町議会では4議員から15項目にわたる質問がありました。その概要を紹介します。

海岸道路

蓮沼の海浜公園から子供の国近くまで伸びた道路は数年前に完成したが、その先は全く進んでいない。この路線は、今後海岸周辺の発展に大きく影響する重要な道路だけに、一日も早い全面完成が望まれる。

今年度着工の見通しはないのか。また、用地買収は進んでいるのか。

この道路の建設は県が行うが、九十九里・成東・蓮沼・横芝の3町1村で結成した九十九里有料道路建設促進期成同盟会で運動を進めている。

本年度総枠五千万円の予算がつき、うち四千万円を横芝地先に使用できるようにした。

近日中に関係住民の説明会

を予定しているが、所有者のほとんどが不動産業者ということもあって、買収には困難が予想されるが鋭意努力する。



行き止まりとなっている海岸道路

海岸への進入路

屋形海岸への進入路は複雑で、遠来の観光客には大変わかりにくく悪評をかってい

る。この件については昨年、海岸へまっすぐ通ずる橋をかけたと言ったが、今でも変わらぬ考えか。

長い間に築き上げられた大自然の景観を、町だけの考えで開発してしまうことには問題がある。国或いは県レベルの計画をもとに行われるべきだと思う。

リゾート法と関連させながら、橋の架設を考えていきたい。

浚渫砂の利用

県が毎年栗山川河口の浚渫を行っているが、積上げた砂が南風にあおられ再び川へ戻されている。一方、波打ち際は年々後退しているようだ。県と話し合い、浚渫砂を海岸へ還元したらどうか。

河口付近の砂の堆積は、九十九里特有の現象であり、一度荒れると風で飛ばされる何十倍もの砂がたまってしまうのが現状だ。

上げた砂は、護岸工事に使う目的で積んであるので了解頂きたい。

栗山川漁港



今や全国的な傾向として、漁業者は漁獲を主体とした漁業から、一部観光漁業への機運が高まっている。当町も例外ではなく、先ず人を集めることが肝要かと思われる。

漁港に観光船が係留できるようにする考えはないか。

70隻の漁船が出入りしているが、水揚げは少ない。栗山川漁港の利用市町村は、将来の観光を主体とした漁港に備

えているのが実情だが、現在是一種漁港となっており、目的外的使用は非常に規制されている。時の流れの中で解決されると思う。

ゴルフ場と薬剤

ゴルフ場の芝生に大量に使われる薬剤が、土壌や地下水汚染を引き起こすとして大きな社会問題となっている。